



学校だより

第 135 号 平成 30 年 5 月 25 日

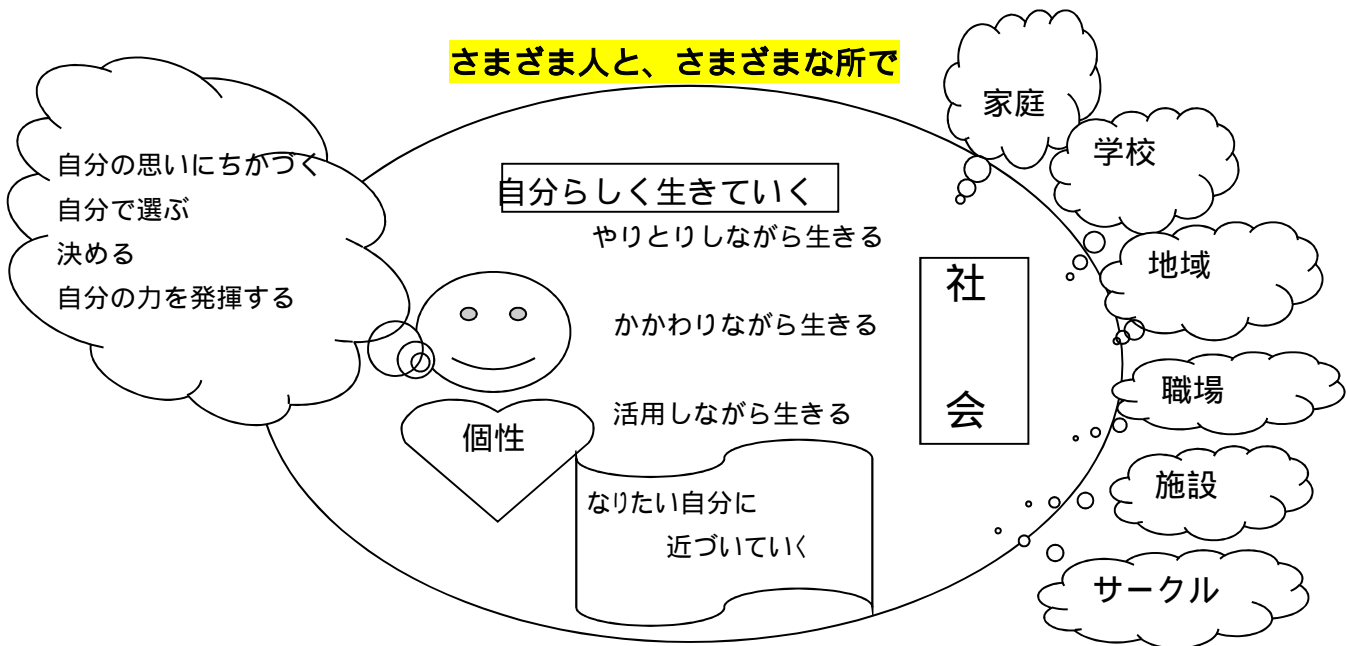
温故知新 金沢のキャリア教育

副校長 佐藤 浩栄

金沢養護学校は、昨年 10 年の節目を終え今年 11 年目を迎えることとなり、改めて新しいスタートを切りました。本校は、平成 21 年～22 年度に神奈川県教育委員会より「特別支援学校におけるキャリア教育」の研究指定を受けました。そもそも、キャリア教育という言葉は、その当時社会問題となっていた「ニート」「フリーター」への対応として職業観・勤労観を育てる必要があるという考えから生まれたものです。

さて、本校が研究指定を受け、それまで行われてきた進路指導「ワークキャリア」(=働く力)だけに目を向けるのではなく、子どもを取り巻く生活や社会にも目を向けながら「自分らしく生きていく」ことや「なりたい自分に近づいていく」ことを目指す「ライフキャリア」(=生きる力)を大切にして取り組んできました。(校歌の歌詞にあるように、じぶんのみち さがしていこう じぶんらしくあるいていこう)

さまざま人と、さまざまな所で



2009 年度の取り組みから

子どもや保護者がどのような生活を送りたいのか、そしてその願いを実現させるために、学校は教育という視点でどのように支え取り組んでいくのか、これが金沢のキャリア教育が目指してきた原点です。